

# 金山町 議会だより

第203号

平成30年11月6日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



会津一円から多くの選手が訪れた  
第一回妖精の里グラウンド・ゴルフ大会

〔9月定例会のあらまし 会期／9月7日～12日〕

(ページ)

9月定例会 平成29年度決算を認定 .....	2～6
一般質問に7人登壇 .....	7～13
常任委員会の管外視察報告 .....	14～15

# 9月定例会

## 決算を認定

9月定例会は、9月7日から12日にかけて開催されました。平成29年度決算認定のほか9議案と、報告2件、議員提出議案2件が提案され、原案の通り認定・可決・同意されました。一般質問には7人の議員が登壇し、町政をたどりました。



会津川口駅前のトイレを  
確認する監査委員

### 決算（議案審議）

#### 歳入

##### 高額延滞金

##### 徴収どうする

##### こつこつと地道に

**問** 延滞金642万円の  
収納対策はどうする。

**答** 住民課長 この方  
については平成10年度だけ

でなく、その後の固定資産  
税の滞納があります。その  
ことを踏まえ延滞金の徴  
収についての考え方で  
すが、まず、未納になって  
いる税金分を優先して納め  
ていただく。11年度分以降  
の固定資産税も、滞納にな  
っている状況ですので、今  
回延滞金は発生しました  
が、まず滞納になっている  
税を優先的に徴収する  
というところで考えています。

**問** 差押え、競売等々の手  
段をなぜとらないのか。

**答** 住民課長 滞納処分  
の手続きとして地方税法  
に定められているものは、

「督促」、それから「差押  
え」です。このケースの場

合、差押えができなかった  
理由があります。地方税法  
上「抵当権の優先」という  
規定があります。この件の  
場合、たとえ財産を差押え  
たとしても抵当権が優先  
されるために、差押えの効  
力が無いものと判断した  
ために、差押えをしません  
でした。非常に地道な方法  
ではあります。この方と  
町とで「分納誓約書」を取  
り交わし、定期的こつこ  
つと納めていただく以外  
には確実な方法がとれな  
いという状況です。29年度  
も分納誓約に基づいて納  
入していただいたその成  
果がこうして決算書にあ  
らわれているということ  
で、ご理解いただきたいと  
思います。

#### 特別徴収チーム

#### 成果は

142万円

**問** 会津地方税滞納整理  
機構(特別滞納整理チ  
ーム)の成果は。

142万円の成果は。

#### 歳出

##### 施設修繕

##### 要望に全て応えたか 応えたと思う

**問** 原材料費199万7  
000円、農業用施設補修  
材料。8地区以外からは要  
望がなかったのか、また、  
要望の中で、この199万  
というのが俗に言う満額  
であったのかどうか。

**答** 建設課長 8地区ほ  
ど実施しました。基本的  
には1地区10万程度とい  
うことで、その年の要望  
によって金額の増減もあ  
ります。要望があった地区  
全部にやったのかという  
ことについては、私の記憶  
の中では全部やったよう  
に記憶しています。

##### 旧処分場対策

##### いつから

**問** 旧衛生処理組合最終

**答** 住民課長 29年度は  
対象の件数は8件で、収入  
額は、142万8730円  
でした。

処分場管理負担金22万2  
848円。この問題はかな  
り抜本的に対策をとらざ  
るを得ないという説明を  
受けていますが、事業はい  
つ始まるのか。

**答** 住民課長 具体的に  
いつ始まるということま  
では決定していません。現  
在は振興局、県から指摘を  
受けて、4町村でこれから  
協議をするという段階に  
とどまっているところです。

##### 妖精美術館の展示

##### 観光に活かせ

##### 工夫した企画展で

**問** 妖精美術館の展示品  
の借り上げ料60万円。ど  
のような形で観光の中で活  
かされたのか。

**答** 復興観光課長 単純  
な美術品の借り上げだけ  
ではなく、毎年行われてい  
る企画展の企画料も含ま  
れて60万円ということだ  
す。工夫をして、多くのお  
客様に楽しんでもらえる  
ように見せ方を考えてい  
きたいと思えます。

※紙面の都合で、4ページ  
に続きます。

# 平成29年度決算審査意見

8月20日から4日間行われた、決算審査における監査委員の意見を要約してお知らせします。

## 交付税減少

### 町財政の

### 余裕はない

当初の目的が十分達成されていないと思われる事業が見受けられました。普通地方交付税が減少する一方で特別会計への繰り出しが年々多額になってきており、町財政は決して余裕はありません。事業実施にあたっては、しっかりと準備のもと、実施できる体制整備をしていただきたい。

## 滞納額の解消見られた 多額の延滞金は

「福島県会津地域地方税滞納整理機構」の活用により、滞納額の解消傾向が

見られます。引き続き、滞納者を出さないよう、滞納額を増やさないよう、各課・係等の連携を強化し収納対策に取り組んでください。今回、多額な延滞金が発生しました。町税等と併せ延滞金の徴収を、どの



▶決算審査の様子

様に取り組むか全庁的な対応が急がれます。

## 補助金 委託料 チェック確実に

補助金及び委託料の事務処理体制を、今以上に確実なものにしていただきたい。事業完了後、速やかに実績報告の提出を受け、写真や書類及び事業効果のチェックができるように、事業実施団体に適切な指導をしていただきたい。

## 施設管理 実績考え 対応すべき

利用実績が少なく使用料収入よりも維持管理経費が多額な施設等が見受けられました。施設の存続も含め、適切な判断により対応いただきたい。

## 環境整え 行政運営 町民のため

最後に、主人公である町

民のために金山町振興計画を実施するのは町職員です。確実な事業実施をする為にも、日頃の健康管理に気を配り、職員の採用、組織の在り方を含めて環境を整え、全力で行政運営することを望みます。

## 平成29年度 一般会計及び特別会計の決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	33億6,972万円	31億7,121万円
国民健康保険事業勘定(医療費)	4億4,331万円	3億7,935万円
国民健康保険事業勘定(診療所)	1億6,067万円	1億6,067万円
簡易水道事業	2億371万円	1億8,933万円
町営バス事業	3,476万円	3,476万円
農業集落排水事業	381万円	381万円
介護保険	5億9,553万円	5億8,466万円
特定地域生活排水処理事業	1億2,852万円	1億1,935万円
後期高齢者医療	4,595万円	4,563万円
特定環境保全公共下水道事業	3,797万円	3,797万円

## 実質公債費 比率の推移

平成29年度 3.6

28年度	3.2
27年度	2.9
26年度	3.5

◀借金返済額の比率です

## 主な基金の残高

(平成29年度末現在)

- 財政調整基金 11億7,071万円
- 減債基金 3億2,281万円
- 公共施設整備基金 5億8,293万円
- 災害対策基金 1億6,144万円
- 少子化対策基金 3億5,701万円

## 主な投資的事業費

事業名	事業費
ラジオ中継局建設事業	5,889万円
町道川口駅前線改良事業	5,053万円
空家住宅活用事業	3,045万円
多目的共同住宅整備事業	2,131万円
スクールバス購入事業	1,711万円

# 決算（議案審議）つづき

## 少子化対策基金

### 残高いくら

3億5700万円

**問** 地域一体型ふるさと教育事業の積立金利子3852円あります。現在の積立金は幾らあるのか教えてください。

**答** 総務課長 少子化対策推進基金についてですが、積立金は3億5700万円ほどになっています。

## 水路・農道整備 二つの事業で 2000万円

**問** 中山間地域等直接支払等事業と多面的機能支払事業の実績は。

**答** 産業課長 中山間地域等直接支払等事業の実績が、1198万132円。事業の内容は、20地区が加盟、20地区において水路あるいは農道の整備等を行った分、それ以外の部分については、所有者に分配できる仕組みです。多面的

ない。今の若者定住、社会のニーズにマッチした予算なのかどうか伺います。

**答** 復興観光課長 定住促進生活応援金や資格取得支援金の支給が当初の想定を大きく下回ったことが原因であります。一方で、結婚祝い金や出産祝い金については多くの実績がありました。今後は予算要求の際に、適正な額の要求を行っていきます。

## 特別会計

### 浄化槽普及率

65%（人口普及率）

**問** 浄化槽使用料448基、1052人分の説明。全体としての設置率は約何パーセントぐらいなのか。つくったはいけれど、未接続の件数とか、あるいは割合とか、その辺の数字をお知らせください。

## 若者定住対策 予算が余っている 効果的に使って

**問** 定住促進事業の報酬費、支出額が96万9160円で、予算が296万2000円。昨年もそうですが、大体費用が3分の1で、3分の2が不用額になる。予算の執行が半分もでき

たり合併浄化槽であったりの部分で町の今年度3月末の人口普及率は、65%となっています。

## 歯科外来

### 減少している

## 対応策は

**問** 歯科外来については、一時回復傾向がございましたが、今年度の決算ではまた前年度よりも大幅に患者が少なくなっている。本来であれば全く成り立た

ないぐらいの金額が毎年報告されるわけですが、それに伴い一般会計からの繰入金があります。町の診療所といいながらも、町財政に負担かかる部分は、大変多くなっていますので、これらの実績についてどのような対応をされてきたのか。

**答** 住民課長 平成27年度、28年度と前年度を上回る実績をあげることができましたが、29年度は前年度を下回ってしまいました。要因はいろいろあるかと思いますが、町としても29年度、いろいろ対策を講じてきました。それが実を結ばなかったということ、何が足りなかったのか、ということも含め、現在の一番重要な課題ということ、で受けとめています。一般会計からの繰入金ということで、町の財政を圧迫しているというよう状況ですので、総合的に対策を講じたいと考えています。

## 議員定数等検討特別委員会の設置

### 1. 設置理由

議会の職責は、「具体的な政策の最終決定」及び「行財政運営の批判と監視」であります。金山町の厳しい地域経済や社会環境の現状等を踏まえ「適正な議員定数や議員報酬等」を、導き出さなければなりません。

したがって、議会として、特別委員会を設置し、議員定数及び議員報酬等に関する調査検討を行おうとするものです。

### 2. メンバー

議員全員

### 3. 正副委員長

委員長：奥 高伸

副委員長：高橋信彦

# 9月補正（議案審議）

## スキー場 リフト修繕 追加330万円

問 スキー場リフト整備の関係ですが、当初予算の500万で、どういう整備をしようとしたのか。330万の増額は、具体的にどここの修理をするのか。

答 復興観光課長 当初は、スキー場のリフトにおけるウイングと呼ばれるリフトの上部の部分と、リフトをロープにかけて走行させるための走行ローラー改修です。新たに現地確認したところ、消耗が激しいということなので、ウイングと走行ローラーそれぞれ50個ずつ追加して、変更契約を結ぼうというものです。

## 工事請負 増額補正

### これで良いのか

問 スキー場リフト整備、町道改良1520万、横田

ので、今回のような計上となりました。いたし方ないと考えています。

## 炭酸温泉の 効能を調査 医科学的に

問 炭酸温泉のエビデンス調査委託料ですが、委託先はどこか。

答 復興観光課長 国内でも温泉研究医学の専門的研究機関である一般財団法人日本健康開発財団を想定しています。

## 人事

### ◆金山町教育委員会委員

教育委員会委員に長谷川恵一氏（川口・62歳）を任命することに同意しました。任期は、10月1日から4年間です。

## 委員の交替

### ◆議会だより編集特別委員会委員

青柳ヨシ子委員から、横田正敏委員に交替しました。

問 炭酸温泉のエビデンス調査、被験者を10人選出して協力をいただくと説明を受けたが、どんな形で人選をされるのか。当然協力していただくということになるわけですから、協力された方への謝礼はあるのか。

答 復興観光課長 エビデンス調査における被験者の人選方法は、町で公募をします。公募するに当たって、町の保健師等の助言も聞きながら、年齢構成なども考慮しバランスよく10名選びたいと考えています。10名の方には、委託先の調査機関から謝礼金を支払う予定です。

# 7月24日 第4回臨時会

臨時会では、除雪ドーザーなどの購入契約など4件が審議され可決されました。（次ページの議案等の審議結果一覧参照）

## 意見書の提出

9月定例会に議員提出議案として提案し可決した意見書を抜粋してお知らせします。

## モニタリングポスト (リアルタイム線量測定システム) 撤去計画の中止を求める意見書

モニタリングポストは、唯一住民が放射能の動きを可視化できるものであり、モニタリングポストの撤去は、住民の安心・安全に対する不安・不信を引き起こすものであることから、原子力規制委員会の撤去計画を直ちに中止させること。

### 提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、環境大臣、復興大臣、福島県知事

# 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	栗城康太郎	青柳ヨシ子	加藤賢享	黒川廣志	奥高伸	横田正敏	高橋信彦	五ノ井義一	馬場清次
<b>■第4回臨時会 平成30年7月24日開催</b>										
専決処分に関する承認について (よこたデイサービスセンター改修に係る 一般会計補正予算)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約締結に関する議決について (町道 川口駅前線道路改良工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について (除雪ドーザ14t 1台購入)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■第5回定例会(9月定例会) 平成30年9月開催</b>										
決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度金山町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町教育委員会委員の任命に関する同意について(長谷川恵一 氏)	可決	投票による採決 (賛成8票・反対1票)								
<b>■請 願 (9月定例会で採択されました)</b>										
「モニタリングポスト(リアルタイム線量測定システム)撤去計画の中止を求める意見書」提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■議員提出議案 (9月定例会で可決されました)</b>										
モニタリングポスト(リアルタイム線量測定システム)撤去計画の中止を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金山町議員定数等検討特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■報 告 (9月定例会で報告されました)</b>										
地方公共団体の財政の健全化に関する比率の報告について										
株式会社社会津かねやま経営状況報告について										

# 栗城康太郎議員の 一般質問



## 地域住民が積極的に参加できる町づくりについて

それぞれ検討している

問 町内30行政区の内、25行政区23ヶ所で『まちづくり懇談会』が開催され、その内22ヶ所の懇談会を傍聴させていただきまし

具体策は。

の連携は。

態勢整備は。

バウンド講演会、先進地視察を行い、おもてなし意識の啓蒙を図っていきます。

た。各地区の皆様の様々なご意見やご要望などを踏まえ、町の考え方を伺う。

答 町長 駅前広場の再整備にあわせ、町内観光スポットの案内看板をリニューアルします。また、会津川口駅を発着とする周辺観光スポット等と接続する二次交通の強化や、旅行社事業者と連携して、会津川口駅と接続する周遊ルートや観光商品を開発したいと考えています。加えて、周辺観光スポットの磨き上げを行いたいと考えています。

答 町長 只見線を「日本一の地方創生路線」とするため様々な重点プログラムの実施されています。教育企画列車など、既に県沿線自治体が連携して実施している事業や連携して実施すべく協議を行っている事業もあります。各市町村独自の取り組みも重要ですが、沿線自治体と同じ目標を掲げ、同じ方向に向かつて連携を密にして取り組んでいくことが重要と考えています。

答 町長 観光客の志向が団体旅行から個人旅行へ変化していることもあり、「地域の文化や伝統を体験したい」というニーズも高まっています。その体験には指導者や案内人が不可欠です。農家民宿などの経営者を核に、周辺住民を巻き込んで地域の活性化につながるよう、町でも積極的に支援したいと考えています。また、町内でも台湾を中心にアジアエリアからの来訪者が増えています。町民向けのイン

取のべきと考えるが。

●只見線復旧後の地域づくりによる活性化は

問① 川口駅が観光客の通過駅とならないための

問② 県の只見線活用プロジェクトチームと町

問③ 観光客の受け入れ

答 町長 住民の発意に柔軟に対応し、地域の実情にあった維持方を住民みずから見出し、いくことを、側面的に支援する体制が重要であると考えています。



福沢地区での「町づくり懇談会」  
地区出身者も多数参加

## 水道未普及地区の解消について

指導・助言をしていきます

問 町内には水道未普及地区が8地区あり、それぞれ組合や地区または個人が管理し飲料水を確保しているが、高齢化が進み維持管理が困難になりつつ

ある。早急に対策を講じるべきだと思うが、町の考え方を伺う。

消されない原因であると

道を持てた。今後は、地区水道を維持できるよう指導や助言、改良工事や復旧工事を行う場合の補助などを行っていきます。

持管理が困難になりつつ

答 町長 現在、町の水道へ加入するメリットが小さいことが未普及地区が解

業で、八町玉梨簡易水道施設へ区域拡張工事に着手

業で、八町玉梨簡易水道施設へ区域拡張工事に着手



## 横田正敏議員の 一般質問

# 教育長として2期目の抱負について

## 反省を踏まえ内容を充実させていきたい

**問** 学校分野においては、「教育行政外部評価委員の感想及び意見」においても指摘されているように、小学校については、少子化が進む中で、地域性の問題もあるが、学びの環境としてどうなのか検討すべきと感じますが、どうか。

**答** 教育長 横田小学校では小規模校の良さを生かし、地域との連携を密に

し、地域に支えられる学校として、横田中学校が統合されてからは、地域の中心の学校として大きな成果を上げています。運動会や横小祭りでも多くの参加者を得て、地区と一体となった活動に取り組んでいます。金山小学校は6つの小学校が統合してできた学校であり、近年急速に児童数を減らしていますが、金山町の中心の学校です。どちらも特色を持ったすばらしい実績を上げている学校です。学校は統合してしまえば後戻りはできません。地域のまとまりとしての使命を失ってしまいます。このような学校はなるべくなら存続させていきたいと考えています。今後児童数の推移の状況に注意するとともに、地域住民、保護者の意見を十分に聞きながら、慎重に考えていきたいと思っています。

育の充実と地域の教育力の再生により、将来を担う人材の育成を18年間通して行うことを目的とし、実施している「地域一体型ふるさと教育」について、今後どのような取り組みをされるのか。

**答** 教育長 平成26年度

小学校が統合してできた学校であり、近年急速に児童数を減らしていますが、金山町の中心の学校です。どちらも特色を持ったすばらしい実績を上げている学校です。学校は統合してしまえば後戻りはできません。地域のまとまりとしての使命を失ってしまいます。このような学校はなるべくなら存続させていきたいと考えています。今後児童数の推移の状況に注意するとともに、地域住民、保護者の意見を十分に聞きながら、慎重に考えていきたいと思っています。

に取り組みを始め5年目を迎えています。当初計画した一連の事業がようやく整ってきたところです。この事業は、「奥会津学びの18年」のキャッチフレーズのもと、金山の将来を担う人材の育成を目的として進められてきました。小中学校への教育支援事業から学校外活動、高等学校への支援、若桐寮の管理運営に至るまで幅広い事業を展開しています。5年目を迎え、事業の成果として

現する姿が見られたことや、近隣町村や町内への高校生の就職が出てきたりしていることなど、少しずつあらわれてきていると思っています。若桐寮の運営も、ここ2年ほどは落ちついてきており、大学進学を希望し、学習に取り組む生徒の姿が見られます。今後は、この若桐寮から高校を卒業して町内に就職する生徒が出てくるようになるまで、今までの事業に反省を加えながら、さらに内容を充実、発展させていきたいと考えています。

**答** 教育長 福島大学等の支援を得て、民俗資料の整理、弥平民具の点検などを行っています。いずれは専門の知識を持った人を配置し、事業を進展させていきたいと考えています。

**問** 「広報かねやま」に教育に対する熱い思いを掲載して欲しい。

**答** 副町長 金山町ではこういう教育が行われているのか、給食費は完全無償なのかという、金山町が独自に先駆けて行っている教育を周知できる機会かと思われま。そういった教育長の思いも含め、近々の広報で特集を組み、県内外に幅広く伝える機会を設け、「金山町で育つ」と、声を大にして発信したいと思っています。

**問** 保・小・中・高での教

育の充実と地域の教育力の再生により、将来を担う人材の育成を18年間通して行うことを目的とし、実施している「地域一体型ふるさと教育」について、今後どのような取り組みをされるのか。

現する姿が見られたことや、近隣町村や町内への高校生の就職が出てきたりしていることなど、少しずつあらわれてきていると思っています。若桐寮の運営も、ここ2年ほどは落ちついてきており、大学進学を希望し、学習に取り組む生徒の姿が見られます。今後は、この若桐寮から高校を卒業して町内に就職する生徒が出てくるようになるまで、今までの事業に反省を加えながら、さらに内容を充実、発展させていきたいと考えています。

**答** 副町長 金山町ではこういう教育が行われているのか、給食費は完全無償なのかという、金山町が独自に先駆けて行っている教育を周知できる機会かと思われま。そういった教育長の思いも含め、近々の広報で特集を組み、県内外に幅広く伝える機会を設け、「金山町で育つ」と、声を大にして発信したいと思っています。



金山小学校から役場前バス停（乗降場所）まで集団下校する児童

# 進む高齢化、過疎の中で集落支援が必要

## 最小限の公的支援を行いながら集落を維持したい



**問** ことしは、春から極端に降水量が少なく、生活用水、農業用水の確保に苦慮された集落も多いと聞いている。ある集落では、数日間全く用水が止まってしまったということがあった。昔から維持されてきた地区内の山道等の管理は、年々縮小している現実もある。高齢化、過疎の進行により集落内の活力が失われ、地域の自治活動に

も支障を来し始めている。町の認識と対策は。

**答 町長** 町民と行政が一体となりまちづくりに取り組むこと。行政は町民の声を聞きながら、住民の住み続けたいという意向を尊重し、暮らしの安定・安心を確保すること。集落はみずからが対策をして

いくこと。つまり、主体性の発揮が何よりも重要と考えています。町内それぞれの集落の実状は様々ですが、我が町の高齢者はまだまだ元気で、現役として地域を支えています。行政としては、そのような方が生き生きと暮らせるような町を目指し、最小限の公

的支援を行いながら集落を維持し、生活の維持、生活の質の向上に重点を置くべきだと考えています。

**問** 行政として、5人とか7人の専属の施設を管理するスタッフ、組織をつくる、年中地域を回って地域の環境対策などに対応する形はとれないのか、町長の考えは。

**答 町長** 雇用の場と位置づけながら、そういうことも必要かなと、集落をパトロールしながら、集落の維持管理に努めていくという、グループがあってもいいかと考えています。また、そうなくてはならないかなとも思います。

## 国土調査の再開を

### 事業遂行は、コストと成果を勘案すべきと考える

**問** 町は、平成5年から実施してきた国土調査を3集落の完了、1集落実施未完了の状態、平成20年度で中止されている。高齢化、過疎の進行がとまらない

業実施においても、種々土地の問題解決のため、遅れが懸念される。国土調査の再開は急を要するものと考えているが、町の考えは。

**答 町長** 昨年9月定例会において同様の質問があり、JR只見線の再開通、本名バイパス整備、八十里峠の開通等を見据えた受け皿となる事業について、最優先に取り組まなければならぬと考えている

**問** まだ元気なお年寄りがいらつしゃって、土地の境界や、地域の状況であるとかご理解いただけるところに、国土調査は、やる必要があると思うが。

**答 町長** 国土調査については、その重要性は十分認識していますので、今すぐできるというような確約はできません。

中、不在地主の増加、所有者確認の困難な土地や境界確定の難しい土地の増加など、今後のまちづくりに大きな影響を与えると考えている。本格化された只見川圏域河川整備計画の事

業実施においても、種々土地の問題解決のため、遅れが懸念される。国土調査の再開は急を要するものと考えているが、町の考えは。

**答 町長** 昨年9月定例会において同様の質問があり、JR只見線の再開通、本名バイパス整備、八十里峠の開通等を見据えた受け皿となる事業について、最優先に取り組まなければならぬと考えている

**問** まだ元気なお年寄りがいらつしゃって、土地の境界や、地域の状況であるとかご理解いただけるところに、国土調査は、やる必要があると思うが。

**答 町長** 国土調査については、その重要性は十分認識していますので、今すぐできるというような確約はできません。



土倉地区の国土調査杭  
対岸は、護岸整備された上横田地区



## 青柳ヨシ子議員の 一般質問

# 介護保険について

## 利用者の負担軽減を実施している

**問** 介護保険の利用負担を軽くするために「千葉県船橋市の介護保険利用者負担助成制度などを参考に検討してください。

**答** 町長 ご指摘の船橋市の助成制度ですが、これは「要介護・要支援の認定を受け、介護保険の在宅サービスを利用しようとする方のうち、低所得で利用が困難な人に1割の利

用者負担の一部を助成する」という内容の制度です。これは、元々社会福祉法人等による介護保険サービスの利用者負担額軽減制度として国が定めたもので、金山町でも、国の基準に準拠する形で実施しているところですが、ただ、船

橋市など人口規模の大きな自治体にあつては、独自の軽減策を実施しているところが散見されます。これらの自治体には、介護サ

ービスを提供する事業所が多数存在するために、事業所によって利用者負担の軽減の取り扱いがまちまちになる場合があります。そこで、市が独自の基準を定めて、市民にとって負担が不均衡とならないようにする必要があるためと考えられます。金山町の場合、この制度に係る事業所は1つのみであるために、そういった不均衡は生じませんので、その点は、

自治体の規模の大小によって取り扱いが異なるというところでご理解をいただきたいと思います。

**問** 介護保険料は払っているけれども、介護保険を利用して何かサービスを受けたらと思うても、またサービス料は要るわけですか。そのサービス料は、わずかかもしれないのですが、そういうのを支払えないために利用できないという方もいらっしゃると思

います。その利用料の10%でもいいですから助成をして、ぜひともたくさんの高齢者が介護保険を利用して、健康で長生きできるようにして欲しいと思うので、ぜひ実行していただけないでしょうか。

**答** 住民課長 ご指摘の件は既に、国の通知に準拠する形で、金山町社会福祉法人等による利用者負担軽減措置事業として実施しています。

体育館の窓のあけ閉め、水分補給、屋外の運動の自粛、プールの水温計測による水泳の実施の有無の検討等、実施しています。しかし、熱中症対策は、それだけでは対策として不十分なものもあります。エアコンの設置は必要であると

# 学校にエアコン設置を

## 設置に向け検討する

**問** 小中学校にエアコンを設置してください。地球の温暖化により今年の暑さは命にかかわるものではないでしょうか。今年だけの暑さは今年だけのものではないと思います。子供たちが安心して過ごせるように学校にエアコンを設置してください。

**答** 教育長 今年度の夏の暑さは、例年になく異常な状況でした。金山町の各学校のエアコンの設置状況は、保健室、給食室には設置されていますが、各教室、特別教室には設置されていません。各学校では、熱中症対策として、教室

体育館の窓のあけ閉め、水分補給、屋外の運動の自粛、プールの水温計測による水泳の実施の有無の検討等、実施しています。しかし、熱中症対策は、それだけでは対策として不十分なものもあります。エアコンの設置は必要であると

思っています。今後は、設置箇所の数、設置費、維持管理費を検討しながら、国の補助事業の状況を把握しながら、設置に向けて検討したいと思



エアコンが設置されている  
コンピューター室（横田小学校）

# 町づくり対策について

## 生産者に誇りを持ってもらう



水場が整備された  
大塩の炭酸場

**問** 町長は、この四年間、公約に沿った町づくりを進めてこられたのか、町の人口は本年8月には約2千人まで減少している。町民が安心できる町づくり、町民の求める仕事場づくりの現状と対策について伺う。

●交流人口対策

**問** 観光施設、受け入れ態勢の整備の現状と対策は。

**答** 町長 4年間で整備

した観光に関連する主な施設は、金山町温泉保養施設せせらぎ荘、川口駅前公衆トイレ、大塩炭酸水公衆

トイレ、大塩炭酸水公衆引水口などがあります。就

任当初、町内の観光客入込客数は約13万6000人

でしたが、昨年度は約19万4000人を数えるなど、

町内を訪れる観光客は着実に増加しています。しか

し、観光客の入り込みに対して町内宿泊者数は少な

く、大きな経済効果を生むに至っていないのが実情

です。今後は、町内の宿泊客を増やすための施策に

重点を置きたいと考えています。また、町内に点在する観光施設の案内看板の整備を検討中であり、今年度から案内看板の統一

なデザイン設計に着手する予定であるほか、大塩炭酸場井戸周辺の林地を間伐し、散策スペースとし

て整備することを検討し、

訪れた観光客が金山町に

長く滞在できるように工夫をしていきます。

**問** 町民の雇用対策は。

**答** 町長 町内の維持管

理、これにかなりの事業費を計上しています。今まで

維持管理がなされてこなかった。町内をきれいにし

ようという観点から行ってきました。今まではポラ

ンティアや、地区の方をお願いしてやってきたものを、それでは、今の金山町では成り立っていかない

ということから、企業にお願いしなければならぬだろうということ、雇用の場の確保、あるいは企業の売り上げの増進にはつ

ながったと思っています。

**●農林業振興対策**

**問** 地域農産物の振興及び6次化への取組現状と対策は。

**答** 町長 奥会津金山赤

カボチャのブランド力の

向上の取り組みとして、パ

イプハウス購入費の補助

や出荷規格の統一に向けて糖度計を購入し、協議会

への貸し出しを行うとともに、地域団体商標登録の

支援を行いました。赤カボ

チャについては、知名度は

向上しましたが、今後は、

生産者の拡大に向けての

取り組みが課題と考えて

います。エゴマの振興につ

いては、エゴマの洗浄場の

整備や作付奨励のための



## 黒川廣志議員の 一般質問

# 「せせらぎ荘」の管理運営は！

## 町を代表する保養施設に向けて進める

問① (株)グットスタッフに管理委託し2年経過した。町民の保養・健康増進にどう寄与したか。

答 町長 平成28年のリニューアルオープン以降、年間2万8000人、うち町内のお客様が約1万6000人訪れる、金山町を代表する保養施設となりました。日本国内の温泉施設の0・6%しか存在しな

い天然炭酸温泉を広くPRするため、昨年度末から「天然サイダー温泉」の名称で売り出し、健康増進を目的とした入浴を推奨し始めたところですが、今年度から新たに炭酸温泉の効能についての医学的調査を実施する予定で、調

査の結果得られた医学的根拠に基づく炭酸温泉の効能を町民に広く周知し、町民の新たな健康づくりの形で定着させていきたいと考えています。

問② 町内の雇用改善につながったか。

答 町長 平成28年9月時点では、常勤の町内雇用者が2名だったのに対し、現在では、常勤の町内雇用者が4名を数え、町内雇用に寄与していると考えています。

# JRR只見線の利活用について

## 町民の利用促進に向けても努力する

問① JRRの町民説明会で「橋梁や駅舎の改修・塗装等は福島県と協議する」と答弁したが、協議経過はどうか。

答 町長 現在のところ、本件に係る協議は行われていないとのことです。福島県によると、先日、JRR東日本仙台支店から協議をしたい旨の打診があったそうです。日程は明らかになっ

ていないようですが、秋口には協議の場が設けられる

のではないかとの見通しのことです。

問② 金山町・只見町で「只見線活用連携体制構築実行委員会」を設立したと聞く。その目的は「只見線の観光利用を効果的に推進する」としているが、町民の利活用促進の支援策は。

答 町長 只見線が存続するためには、観光利用だけではなく、町民による利活用の推進が重要である

という指摘でございます。7月23日に設立しました当実行委員会は、只見線の再開通を見据えて、現在、只見町が魅力的な観光地となるよう、主に観光面での只見線利活用についての事業を両町が連携して検討・実施していくものです。只見線の利活用・利用促進については、議員ご指摘のとおり、観光面での活

用もさることながら、町民の利用も重要であると認識してまいりますので、町事業として、町民の皆様の利用促進につながるよう、只見線に対する地域住民の関心を高めるとともに、県・関係市町村・住民団体などとも連携し、より親しまれる只見線になるよう事業を展開したいと考えています。



只見線復旧工事の様子  
只見川第7鉄橋



# あいづ二次交通強化支援事業のバス運行について

## 利用者を増やしたい

**問** 会津田島駅と会津川口駅を結ぶバス路線の試験運行が、始まりました。今後の町活性化の為に重要な路線と考え、試験運行後も継続を望まれますが、その為に町はどの様に対応されるのか伺います。

**答 町長** 8月11日から運行を開始し、8月分として、土日の6日間の運行状況をバス事業者の方から提供していただきました。

## 今年の少雨による渇水被害について

### 9地区で被害確認

**問** 今年の渇水は例年になく深刻でした。各集落内の用水は生活、消防、また消雪に使用され、無くてはならない命の水ですが、水路の維持が困難になりつつあります。先を見据えた対応が必要と考えますが、町の考えを伺います。

**答 町長** ことしはまれに見る雨不足で、7月下旬ごろから、農業用水や生活用水の水不足について、不安の声が聞こえ始めまし

**問** 今年度の渇水被害は、各行政区長を通じて地区の状況把握に努めるとともに、7月下旬から8月上旬にかけて、町担当課職員と県の金山普及所職員による調査を実施したところでは、葉先が枯れたなどの軽度の水田が8地区で約1・4ヘクタール、葉と茎が枯れた重度の被害と思われた水田が1地区、約15アールでした。なお、

**答 建設課長** 用水路の修繕工事や原材料支給主に、側溝へのふたがけの要望があります。原材料支給

田島駅と会津川口駅を結ぶ路線については、6人の利用です。田島から会津川口駅の利用が6人でした。柳津駅と会津川口駅を結ぶルートは、延べ32人の利用でした。利用率が極端に低いと思われませんが、始めて1カ月も経過してい

ませんので、課題を議論するには時期尚早であると考えております。潜在的な利用可能者は多数存在していると思われませんが、その人たちに効果的に周知を図る方法を模索している段階です。バス事業者の営業や宣伝だけでなく、町

のホームページにバス事業者へのリンクを張るなど、試行錯誤している状況で、利用者を増やすことが当面の目標であります。

**問** このバス、川口から田島まで1500円かかります。その1500円に対し乗降客を増やすという

**答 町長** 今のところ、その運賃に関する補助とか、そういうものは考えておりませんが、状況に応じて色々考えなきゃいけないと思っています。



会津川口駅と会津田島駅を結ぶ会津バス(奥会津ぶらり旅 路線バス)

# 管外視察報告(要約)

## 産業建設常任委員会

7月5日～6日実施



▶昭和62年から浚渫を実施。  
年間最大浚渫量は、25万 $m^3$ (2船団)  
現在は、年15万 $m^3$ (1船団)。  
平成26年度末迄の浚渫量は約490万 $m^3$

### 相模ダム貯水池大規模建設改良事業について

相模ダムは富士山麓の山中湖を水源として山梨県から神奈川県へ流下する相模川に昭和22年に完成した多目的ダムです。主に神奈川県民の「水がめ」として大きな役割を果たしています。建設後半世紀が経過し、ダムの宿命である堆砂が進み、上流の山梨県上野原町(現上野原市)では昭和57年の台風による家屋の浸水被害も発生しています。

#### 浚渫事業

昭和62年に浚渫船団を導入し、年間10～15万 $m^3$ の浚渫を行っていましたが、平成4年度の堆砂率は29.7%に達していました。翌年リフレッシュ・相模湖と題して浚渫船団を2船団に増強し「相模貯水池大規模建設改良事業」を立ち上げ、年間に25万 $m^3$ 浚渫を実施、現在では洪水時の安全性が確保されたこと等により年間15万 $m^3$ の浚渫を行っています。平成26

年末迄に約490万 $m^3$ の土砂を除去しています。

#### 浚渫土砂の活用

①建設骨材や埋め立て、河川還元、養浜(相模川河口の浸食を防ぐため海岸線に大量の土砂を投入し、海浜を維持すること)を行っています。養浜に利用する土砂は年間約2万 $m^3$ 、ダンプトラックで運搬しています。

②山間の窪地にコンクリートを混ぜた土砂を積み上げ、将来は8haの農地として活用する工事を行っています。

#### 現地を視察して

金山町内の只見川に設置されている発電専用利水ダム(本名、上田、宮下)の堆砂量は約1694万 $m^3$ (平成29年度)で土砂処理量は約137万 $m^3$ のみです。只見川には10の発電専用利水ダムがあり、下流の阿賀川、阿賀野川にも6つの発電専用のダムがあ

ります。私達流域住民が安全・安心して暮らすには、土砂の置き場確保やダムの改造、総合的な土砂管理

計画を策定するなど河川の一貫管理の必要性を痛感しました。

### 南会津町の森林・林業の整備事業について

南会津町は林業に携わる関係者が200人余と一定の基盤があり、町でも推進室を設置するなど、林業の再生に向けて取り組んでいることが実感されました。

当町も森林が90%占めています。林業の再生には、多くの課題があります。金山町として、先ず林業担当(専属)の職員配置、先進地域に学ぶこと、昨年結



▶地元材をふんだんに使い新築された南会津町役場で

成された「会津地域森林資源活用事業推進協議会」の事業にどのように取り組めるか、にかつていないと思います。南会津町農林課の話では、南会津町の総面積に対し森林面積は約92%を占めています。そのうち国有林は約30%、民有林は70%を占め、民有林における人工林(杉、カラマツ、アカマツ)の割合は25%、長引く木材需要の低迷や就業者不足により、間伐等が実施されていない森林が増加している。林業再生に向け平成24年度に「森のエネルギー創出プロジェクト(間伐材搬出促進事業)」を立ち上げ、間伐材の買い取り制度を導入し、木材の搬出量も増加傾向にあり、間伐材を搬出し、収入を得ている方もいるとのことです。

# 常任委員会

## 総務文教常任委員会

6月27日～29日実施



◀海岸線から山側に入った「桑取谷」事務所は、旧農協を優先的に斡旋説明を受けている会場は、旧保育所地元民と転入者が一緒になって活動

### 「NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部」の取り組みについて

NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部は、上越市の西部、通称「桑取谷」とよばれる中山間地域を活動拠点に、住民80人が発起人となり2001年に発足したNPO法人で、山里の自然・景観・文化・地域産業を「守る・深める・創造する」ことで豊かな里山・里海の地域文化を育むことを活動の目的とされています。

#### ① 地域活動の支援

過疎高齢化と共に、行事の存続が難しくなりつつある古くからの民族行事のサポート・保全・記録。「結(ゆい)作業」地域で共有する用水・道・学校などを皆で労力を出し合っ

#### ② 自主事業

地域資源をもとに復興・創設・企画し地域内外をつなぐ「場」の創出。地域づくりを目指す人材育成。予防福祉(昼食会・お

茶会・介護予防教室)。子供へのUターン教室。

#### ③ 仕事起こし

助成金のみに頼らない経済的自立が不可欠として、イベントから販売・出版・特産品開発・店舗運営と多岐に渡る事業。カフェや旅館業などの施設運営。

#### ④ 受託事業

上越市の地球環境学校や、くわどり市民の森(上越市民の上水道の水源地)の管理受託事業(行政との協働)など。

活動は多岐に渡り、その活動フィールドを「クニ」と定義し、土地・人の生活の自給力を基礎とした上に成り立つ、自立的な地域づくりの活動には目を見張るものがありました。

(※クニとは、造語で半自給的な生存力を残存させている集落の集合体を任意で仮定したもの)

NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部の精力

的な活動に、これからの中山間地域の生き方を学びました。

### 宝達清水町のデマンド(乗合)タクシーについて

宝達志水町は、石川県のほぼ中央に位置。住民のニーズに合わせる為に町では、

- 町内全域に対する運行
- 誰もが利用できる運行
- 町営バスを一括管理の考えの下「デマンド(乗合)タクシーと巡回バスの併用連携型」の独自の交通システムを構築した。デマンド(乗合)タクシーの運行区分。
- 山間エリアは小型タク



▶受付センターで説明を聞く

●「CTIシステム」による受付。(※CTIシステムとは、コンピュータと電話の統合システム。受付オペレーターが運転手へ予約リストを送信するとGIS機能により目的地を把握でき、運転手の負担も少なく効率的な運行ができる)

住民の利便性等を考えるとCTIシステムは、我が町でも検討されて良いと思う。また、スクールバスの空き時間を利用した「宝達志水町コミュニティバス」の運行にも注目すべきものがありました。



## 「来年は議員選挙」

今、国は、少子高齢化と財政難により、日本各地が抱える様々な課題を解決する施策と予算を提供できなくなり、自治力が問われる時代となっています。

にもかかわらず、小規模町村における議員のなり手不足問題が深刻となっており、その結果として、議会を廃止して住民総会設置の検討を開始した自治体（高知県大川村）もあります。

九月定例会で「金山町議員定数等検討特別委員会」が設置され、議員定数や議員報酬等に関する調査・検討が行われます。

ここで大切なのは、現状分析の徹底だと考えます。住民が、議会・議員をどう見ているか、何を期待するかを明らかにすることが必要です。

県内五十九市町村中、最も高齢化率が高くなったことは、政治家にも責任の一端があると考えます。

来年は議員選挙の年であり、地方自治を担える多くの候補者を望むのは、町民の切実な願いであろうと確信いたします。

私が、議員を目指すきっかけとなったのは、平成二十三年の豪雨災害で、東京からボランティアに駆けつけてくれた二十歳の茶髪の青年が「困っている人がいるから助けに来た」という言葉にあります。

感動したその言葉・その時を原点に、ささえ合いの精神を忘れずに、日々の活動を発展させていきたいと思っております。

（横田正敏）

## 町村議会議員研修会に参加後 八十里越及び滝ダム堆砂対策等を視察

10月23から24日の日程で、視察研修を実施しました。23日は、町村議会議員研修会で、「自治体議会のあり方等」を、24日は国道289号八十里越（福島県施行区間）で、「工事の進捗状況等」を、電源開発(株)田子倉電力所等では、豪雨時の滝ダム操作の改善策や寄岩地区土砂揚場の運用等を確認する視察研修を実施しました。



▲ユラックス熱海で行なわれた研修会

## ごあんない

次回の定例会は、12月7日ごろ開会の予定です。  
一般質問は12月10日ごろとなります。  
お気軽に傍聴においで下さい。  
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井清二

〔編集委員〕

委員長 馬場 清次

副委員長 黒川 廣志

委員 栗城康太郎

加藤 賢享

横田 正敏

次回、金山町議会だよ

り第204号は、2月中旬ごろ発行の予定です。